聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL18

矢部川漁業協同組合八女東部愛好会
会長 原口（はらぐち） 政恒（まさつね） さん

今回は、自然豊かな矢部川や星野川等の川を守るための活動をしている矢部川漁業協同組合八女東部愛好会の原口政恒さんに、黒木町の鮎祭りと日頃の活動について、お話を伺いました。

漁業協同組合・愛好会の活動内容を教えてください。

矢部川と星野川の清流を維持するため、定期的に河川の清掃を行い、年間を通して稚魚（ウナギ、スッポン、鮎、ハヤ、カニ）を放流しています。また、上陽町の山林（矢部川源流の森）を購入し、「山」「川」「海」を一体的にとらえ植樹等の活動を通じて森の機能を保全し、環境を守っています。

鮎祭りはどんなお祭りですか？

黒木町の藤棚の下で50年以上続くお祭りで、鮎の塩焼きや鯉のあらい等を提供しています。各漁業協同組合や愛好会の振興にご協力いただいた皆様に感謝をお伝えし、各機関の方やご来場いただいた方と絆を深めるために毎年お祭りを行っています。

これからの目標をお聞かせください。

魚道の確保や環境保全を進め、漁獲量を増やしたいです。また、八女の魚の種類や美味しさを知ってもらうことや子どもたちが楽しく遊べる場所の整備をしていきたいです。

河川を守るために協力してほしいことは？

川で物を燃やさないこと。遊びに来た際にごみの片付けをし、川をきれいに使ってほしいです。

議会に対してのメッセージをお願いします。

河川に降りるための道路整備をお願いします。未来の子どもたちにきれいな川を残せるように頑張っていきます。

編集後記

11月の和名は「霜月」です。

霜月の朝、真っ白に輝くあぜ道に立ち並ぶ霜柱を見つけると、幼い頃の私は両手をズボンのポケットに入れ、背中を丸めながら歩きました。霜を踏むたびに、サクッ、ザクッと音が響き、その度に心が踊ったものです。この音は通学路の朝の恒例行事であり、その感触は楽しさを感じさせるものでした。

立冬を過ぎると、木枯らしが吹き、紅葉が深まる中で、自然が冬の装いを始めます。日中の陽だまりが暖かく感じられる一方で、夜は冷気が増し、星空が一層澄んで見える季節となります。

皆様、どうぞお体を大切にされ、健やかにお過ごしください。

（原田　英雄）

議会を傍聴しませんか？

次回定例会11月27日（水）予定
八女市役所4階議場
午前10時から
※日程は変更となることがあります。

議会中継はこちらの二次元コードからもご覧いただけます。

「議会インターネット中継」をクリック

発行責任者
議長　橋本　正敏
広報委員会
委員長　古賀　邦彦
副委員長　水町　典子
委員　服部　良一
委員　高山　正信
委員　小山　和也
委員　原田　英雄
委員　久間　寿紀
委員　坂本　治郎
委員　花下　主茂

発行／八女市議会　編集／広報委員会
〒834-8585　福岡県八女市本町647番地
TEL 0943(23)4922